

事業所名 こどもサポートセンター すてーじ

支援プログラム (参考様式)

作成日 6 年 8 月 10 日

法人(事業所)理念	障害児が生活能力向上の為に必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることが出来るよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。		
支援方針	「こどもサポートセンター すてーじ」は利用児童の学校終了後及び、学校休業日の居場所を提供し、その中で、生活能力の向上の為に必要な訓練や社会との交流の支援を目的としています。特に、児童がリラックスし、ゆったりとした雰囲気の中で過ごせるよう余暇活動を中心に散歩などの課外活動を通じて外部での社会交流・体験の機会を提供できるような活動も取り入れています。障害のある子どもたちが、ありのままの自分を安心して出すことが出来る居場所となるように取り組んでいます。		
営業時間	平日:10時 学休日:9時	0分から	平日:19時 学休日:18時 0分まで
	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の検温・手洗いを実施し、ひとりひとりの健康状態を把握していきます。 ・健康な心と身体を育て、健康で安全な生活が出来るようにサポートしていきます。 ・洗濯係や掃除機係など、係の仕事に責任を持って最後まで取り組み、日常生活で出来る事を増やしていきます。 ・さまざまな活動や、遊びを通して学習できる環境を整えていきます。 ・障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化していきます。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・運動前にはストレッチをして怪我の予防をし、バランスボールやバランスブロック、縄跳びなどの室内遊びや、近くの公園や海まで散歩して体力に向上を図ります。 ・感覚や認知の特性(感覚の過敏や純麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。 ・自力での身体移動や歩行、車いすによる移動など、安全に留意しながら日常生活に必要な移動機能の維持、向上の為に支援を行います。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行います。 ・日々の活動や学習課題、作業課題で数量、大小、色等の習得 数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得の為に支援を行います。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切に行動できるようにサポートしていきます。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、時には支援員が間に入り、言語を受容し表出する支援を行います。 ・指差し・身振り・サイン・絵カード等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑に出来るように支援していきます。 ・障害の特性に応じた読み書きの向上の為に支援を行います。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 ・感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊びの象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していきます。 ・周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、支援員が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していきます。 ・支援員を介して自分の出来ることなど、自分の行動の特性を理解すると共に、アンガーマネジメント等、気持ちや情動の調節が出来るように支援していきます。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまに関する相談を随時受け付けます。必要な時は関係機関とも連携を取りながらサポートさせていただきます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・中学や高校進学、就労や自立等を見据えて支援目標や支援内容を設定していきます。 ・就労継続支援A型・B型事業所「夢つむぎ」に行き、就労体験をしていきます。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが通う学校との情報連携や調整、支援方法や環境調整に関する相談援助等取り組んでいきます。 ・子どもが利用する、相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携に取り組んでいきます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修はもちろんのこと、事業所内での研修や、支援に対する意見交換など取り組んでいます。
主な行事等	毎月、お出かけレクリエーション、クッキング、誕生日会を開催しています。長期休みには電車やバス等公共交通機関を利用してお出かけ。プール遊び、クッキングランチを実施しています。		